

ごあいさつ

平素より、皆さま方には、私ども長浜信用金庫に対しまして格別のご愛顧を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

ここに、令和5年度の事業内容や業績等をまとめたディスクロージャー誌「DISCLOSURE2024」を作成いたしました。是非ご高覧いただき、当金庫へのご理解をより一層深めていただければ幸甚に存じます。

令和5年度は、当金庫創立100周年という大きな節目の年を迎えさせていただきました。今日までの地域の皆さまの温かいご支援に、心より感謝申し上げます。

当期は、『『ながしん「支援力の強化と変革への挑戦」3か年計画』～課題解決による地域経済の力強い回復を目指して～』の最終年度として、地域やお客さまの課題解決に向けて、円滑な金融仲介の役割を果たすため「お取引先・地域・ながしん」が、一体感の持てる存在感のあるコミュニティバンクを目指して、全役職員が一丸となって取り組んでまいりました。

昨年の我が国経済は、新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に移行し、政府による行動制限や入国制限が撤廃されたことから、購買活動を一時的に控えていた消費者の需要回復（ペントアップ需要）に加え、インバウンドの回復等により緩やかな持ち直しの動きが続きました。また、輸入物価や資源価格の上昇を起点とする価格転嫁により消費者物価は高い水準で推移し、およそ30年にも及んだデフレ経済からの脱却が見込まれる状況となりました。

このような情勢下、当金庫といたしましては対面営業の自粛など感染予防に留意しつつも、お取引先の資金繰り支援や各種補助金・助成金の申請のお手伝いなどに全力で取り組むとともに、有価証券等による効率的な資金運用、ローコスト経営に努めてまいりました。

その結果、当期末の預金残高は、3,968億円と対前期比3.76%、貸出金残高は、1,441億円、対前期比2.42%、各々順調に増加いたしました。

また、収益面では、米国のインフレ対策として金融引き締めと円安が日本の金融市場に好響を与え、当金庫の資金運用収益や債券売却益等が増加したものの、国債等債券償却も増加いたしました。その結果として、経常利益は、2,489百万円と前期比11.73%、最終当期純利益は1,806百万円、前期比11.23%と各々減益となりました。なお、健全性の指標である自己資本比率は、20.14%と国内基準(4%)を大きく上回る水準を確保することができ、尚一層の経営基盤の強化を図ることができました。

これも、偏に会員の皆さまならびにお取引先の皆さまのお引き立ての賜と、厚くお礼申し上げる次第です。

今期(令和6年度)は、『『ながしん「未来を拓く変革への挑戦」3か年計画』～信用金庫の真価の発揮と地域の持続的発展を目指して～』の初年度であり、今後も、お客さまや地域が抱える課題解決に尽力し、幸せづくりと地域社会全体の成長に貢献することを目指して努力していく所存でございます。

何卒、この上とも倍旧のご支援とご愛顧を賜りますよう切にお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

令和6年7月



会長 田邊 功



理事長 池野 弘和

基本理念

地域金融の担い手として与えられた社会的使命と役割に誇りを持ち、地域と地域の人々との共感と信頼を大切に、健全経営のもと活力ある長浜信用金庫を目指す。

経営理念

1. 経営基盤と経営体質の強化をはかり、常に健全経営に徹し地域金融機関としての信用を高める。
1. 財産形成の支援と円滑なる融資を通じて、地域と地域の人々の繁栄に寄与する。
1. 職員の資質向上をはかるとともに、職員および家族の繁栄に努める。

3か年経営計画

『ながしん「未来を拓く変革への挑戦」3か年計画』
～信用金庫の真価の発揮と地域の持続的発展を目指して～
(令和6年度～令和8年度)

基本方針

長浜信用金庫のすべきことは、「お取引先・地域・ながしん」が一体感の持てる存在感のあるコミュニティバンクを目指して、金融・非金融分野において、広く支援が必要な人を支え、課題解決に貢献し、その人達を幸せにすることである。

100周年のさらに先を見据えて、お客さまに寄り添い、よく知るために知恵を絞り、汗を流して、職員ひとりひとりが切磋琢磨し、お客さまに感謝される一番身近な金庫となることが当金庫の目指す姿である。

6つの重点戦略と具体策

1. 事業者のお客さまへの取組み

- ・ 伴走支援の強化
- ・ 事業性評価の深化
- ・ 支援機関との連携

2. 個人のお客さまへの取組み

- ・ 資産形成・運用支援
- ・ 法定(任意)後見制度の活用、代理人サービスなど高齢者サポートの拡充
- ・ 個人ローンの積極的な取組み

3. 人材(人財)育成

- ・ 育成型涉外体制
- ・ 職員の課題解決力・対話力向上のための取組み

4. 組織の改革

- ・ 将来を見据えた店舗戦略、店舗運営
- ・ 効率的な組織運営

5. リスク管理態勢の強化

- ・ リスク管理の高度化(リスクの把握・計量化等)
- ・ サイバーセキュリティ対策の強化

6. 業界総合力の活用

- ・ 金融業務に関するデジタル戦略
- ・ 地域の枠を超えた地方創生の推進

CONTENTS

■〈ながしん〉と地域とのかかわり

地域密着型金融の取組み	3
創立100周年にかかる取組み	4
〈ながしん〉のホームページ	4

■事業の概況について

第101期(令和5年度)事業の概況

事業方針	5
金融経済環境	5
預金	6
貸出金	6
損益	6

■地域貢献について

地域活性化への取組み

地域密着型金融の取組み	7
環境に関する取組み	8
お客さまの利便性向上に関する取組み	8

■財務の健全性について

自己資本の状況	9
不良債権の状況	10
リスク管理の徹底	11～12

■業務の適切性について

コンプライアンス(法令等遵守)態勢	13
お客さま保護に向けた取組み	14～16
総代会制度	17～18

■商品・サービスについて

商品・サービスのご案内

預金商品	19
個人向けローン商品	20
事業者向けローン商品	21
サービス	21～22
各種手数料のご案内	23

■資料編

財務諸表	25～30
営業の状況	31～35
役職員の報酬体系の開示	36
バーゼルⅢ第3の柱の開示	37～45
当金庫の概要	46
店舗のご案内	47～48
当金庫のあゆみ	49
開示項目一覧	50